

日本のアメリカンフットボールの歴史を変えたい。

社会人アメリカンフットボールチーム オービックスガールズ



今日はオービックスガールズで活躍している外国人プレーヤーお二人にお話を聞きましした。

●日本でチャレンジしたいことは何ですか？

【KJ】 目今の目標は、2014年1月3日に開催されるライスボウル(日本選手権)の4連覇です。まだこのチームも達成していない記録なので、このチームで、アメフト界、スポーツ界においてずっと残っていくような歴史を作りたいです。

【BJ】 チームやリーグの中で、ベストプレーヤーになりたいです。そのパッションが強く限り、現役のプレーヤーとして挑戦していきたいです。

●日本に来て大変だったことは？

【KJ】 最初の頃は、言葉の壁に何度もぶつかりました。会話でのコミュニケーションはもちろんです。特に読み書きに苦労しました。日本での初出社の日、ミーティング先に向かうために電車に乗ったのですが、駅の標識を読み間違えてどこかわからない終点まで行ってしまいました。2時間も遅刻してしまい、大変でした。勉強をしたり、チームメイトとの会話を重ねたりして、ようやく今があります。

【BJ】 言葉はもちろんです。文化の違いにも戸惑いました。たとえば、僕の体に入っているタトゥーは、日本ではよくない印象を持たれることがあります。しかしアメリカでは必ずしも差別されるようなものではありません。僕は、遠く離れた家族や兄弟の存在や、自分の信念をタトゥーの模様に入込

ています。お守りのようなものです。それが伝わるまでは、ジロジロと見られたり、観光先で拒否されたりすることもありました。たとえば、銭湯やプール、温泉にはほとんど入ることができません。今は、気になる場所に行く前には予め電話で確認をするようにしています。僕は温泉が好きなので…(笑)。

●地域活動を通じて子どもたちに伝えたいことは？

【KJ】 “夢を持ち、諦めずにチャレンジすること”の大切さです。僕もこれまで色々な壁にぶち当たってきましたが、諦めずに乗り越えてきたから今の自分があります。子ども達には、色々な可能性があります。何が起きるかわからない人生、何事にも恐れず、自ら可能性を広げていってほしいです。また、僕が日本と海外との架け橋になることで、世界との壁を低くしてきたいです。フラッグフットボールの訪問授業「きててアメフト先生」の活動で小学校に教えていくと、外国人と接する経験が初めてという子ども達が多いです。はじめは「アメリカ人ってどんな人?」「黒人ってどんな人?」というところから始まりますが、一緒に勉強をしたり、遊んだりすることを通じて共通点を見つけ、見た目や肌の色は違っても、何も変わらない同じ人間なんだという感じを感じてほしいです。

【BJ】 僕は、楽しむことにも一生懸命になる



う」ということを伝えたいです。つらい時や苦しい時でも、楽しむと心がける

●将来のビジョンは？

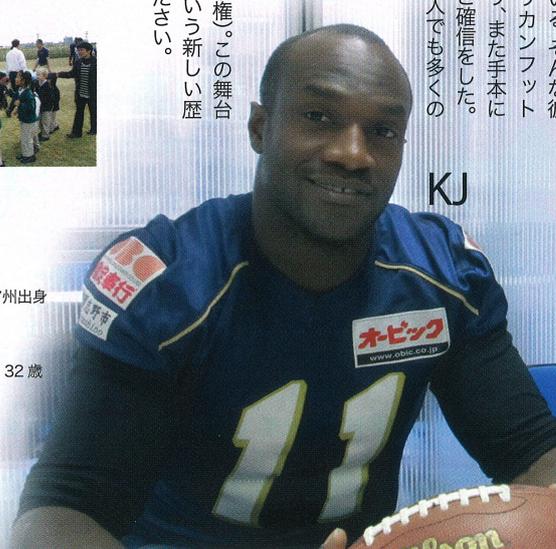
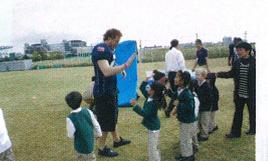
【KJ】 スポーツをベースにして、日本の子ども達の育成に関わっていきたくたいです。アメフトを日本で広めていくためには、もっと競技レベルを上げていくことが必要だと感じています。子ども達ができるだけ早いタイミングで世界に出て、ホンモノに触れる機会を作ることは大切なことです。たとえば、ジュニア向けのトレーニングプログラムを企画し、アメフトに限らず他のスポーツにおいても国境を越えて活躍できるようにアシストを育てるサポートをしていきたいです。日本のサッカー界では、今こそ海外で活躍する選手が増えています。若い頃に海外で経験を積んだ経験がキーンになったという選手も少なくないそうです。そこには、リーグや大人達が10年スパンで選手を育てようというクシヨシした経緯があったはず。僕も、子ども達に世界に挑戦するチャンスを作っていきたくたいです。

【BJ】 アメフトのコーチになって若い選手を育てていきたいです。僕は、それぞれの年代で必要なことをコーチ達から



教えてもらいました。最初のコーチである父からは、アメフトのセオリーを教えてもらい、高校時代のコーチからは、試合中の楽しみ方、最後までやり続けることを教えてもらいました。大学時代のコーチからは、フィールド外での大事なことから、人としての在り方によって今の僕があります。僕自身も、そのように誰かのキーパーソンになっていきたいです。

インタビューをして感じたことは、彼らはアメリカでのキャリアを生かしながら、アメリカンフットボールを通して日本に、地域に溶け込んでいこうとしていること。さらに次のステップを見据えながら、力を蓄えていること。そんな彼らは、周囲に影響を与え、チームを支える大きな力として必要とされている。そんな彼らの力が日本のアメリカンフットボールの刺激となり、また手本になってくれているのだと確信をした。今後の彼らの活躍を一人でも多くの方に見てほしいし、会場に来てオービックスガールズの魅力を確かめてほしい。次の試合は2014年1月3日に東京ドームで行われるライスボウル(日本選手権)の舞台で前人未到の4連覇という新しい歴史の創造者になってください。



DL#11 Kevin Jackson
(ケビン・ジャクソン)
ニックネーム KJ
アメリカ カリフォルニア州出身
ハワイ大学卒業
193cm 108kg
1981年11月10日生 32歳
アメフト歴 25年目
2005年加入

DL#23 Byron Beatty Jr.
(バイロン・ビーティ・ジュニア)
ニックネーム BJ
アメリカ ハワイ州出身
コロラド大学卒業
189cm 109kg
1988年3月4日生 25歳
アメフト歴 12年目
2012年加入